北越雪譜

北越雪譜叙

京山人百樹、京水百鶴

青空文庫

目次

第一編　3
第二編　30
第三編　55
第四編　87
第五編　104
「氷島の漁夫」について　117

世之農商而嗜文雅者、或不知所以文雅為文雅、徒企羨韻士墨客之風標、沈酣文酒、流連花月、而置生計於不問、以傾産業者、間(マヽ)亦有之、是豈嗜文雅罪哉、其人特自取之耳矣、鈴木牧之翁者北越塩沢之老農也、性嗜文雅、而能尚節倹抑驕惰、不絶誦読於経営之中、而務鉛槧於会計之余、以交遠近之墨客、嘗以堪忍之二字銘自守、以故其名久布(シク)遠邑、而生業亦因以致豊饒矣、嗚呼若翁者不徇文雅之名而能務其実者、非耶(ヤ)、余於翁得一面識於江戸、而後特以書訂交者有年于此(コヽニ)、今茲乙未、遠寄示其所著北越雪譜者六巻、併嘱以校訂、時方盛夏炎威如燬、乃就北※下試繙而閲之、則越雪恍如耳聞騒屑之声、目見紛霏之影、使人頓忘甑中之苦、読到積畳埋屋行旅不通人以窮乏柴米或不給、則※然寒顫肌膚為之粟生矣、余因以謂(オモヘラク)、紈袴軽薄子弟、当微雪俄下紛々舞空之際、彫鞍宝勒飛玉塵於郊坰或氈帽棕鞋蹈瓊瑤於街衢或画舸載妓或高楼呼酒直以為勝遊楽事、曾不知飢寒為何物、若令其人読此書、依以想其種々凍餒之苦状乎、然則安知不有能省悟非宴安之公共、而戚々焉生戒懼之心者哉、寧梓而行之其有裨益世教盖非鮮小也、間者稍(コノコロヤヽ)得秋涼、聊削其駁雑、校訂方畢者三巻、書賈文渓堂見而喜之謀梓行之、余寄簡以告翁、々曰※中閉戸漫筆、豈敢欲梓耶(ヤ)、於是乎、不復俟請之於翁挙以付之、翁之嗜文雅而能務其実、此必笑頷之而已、翁之稿本国字之間漢字者、嘗不添音訓之仮名(カナ)、余今尽添之以便童蒙、云爾天保六年乙未秋園菊開日

江戸　京山人百樹并書

此書の稿本図は別冊とし、或は其説に大図を描して添たるもあり、皆牧之翁が自筆の草画也。此挙梓行の為にせざれば図に洪纖重復あり、今梓に臨て其図の過半を省き、目を新にするものを存して巻中に夾刺するは単冊に尽し難を以て也。※は是刪定の意に係る所也。余嘗て原図を閲するに、雪中の諸状混錯を走墨に失して通暁し難きもの靴中の瘡痒これを何如せん、唯翁が草図に倣ひて真に描せる而已。或原図の梓に入るものは則これを加ふ、或は説有て図無きもの其説に拠て其図を作りしもあり。蓋余未だ越地を踏ず、越雪の真景に於て茫然たり、故に雪図に於て違漏あるも知るべからず、其誤を編者に駆ること勿れ。

京山男少年

乙未秋　京水百鶴





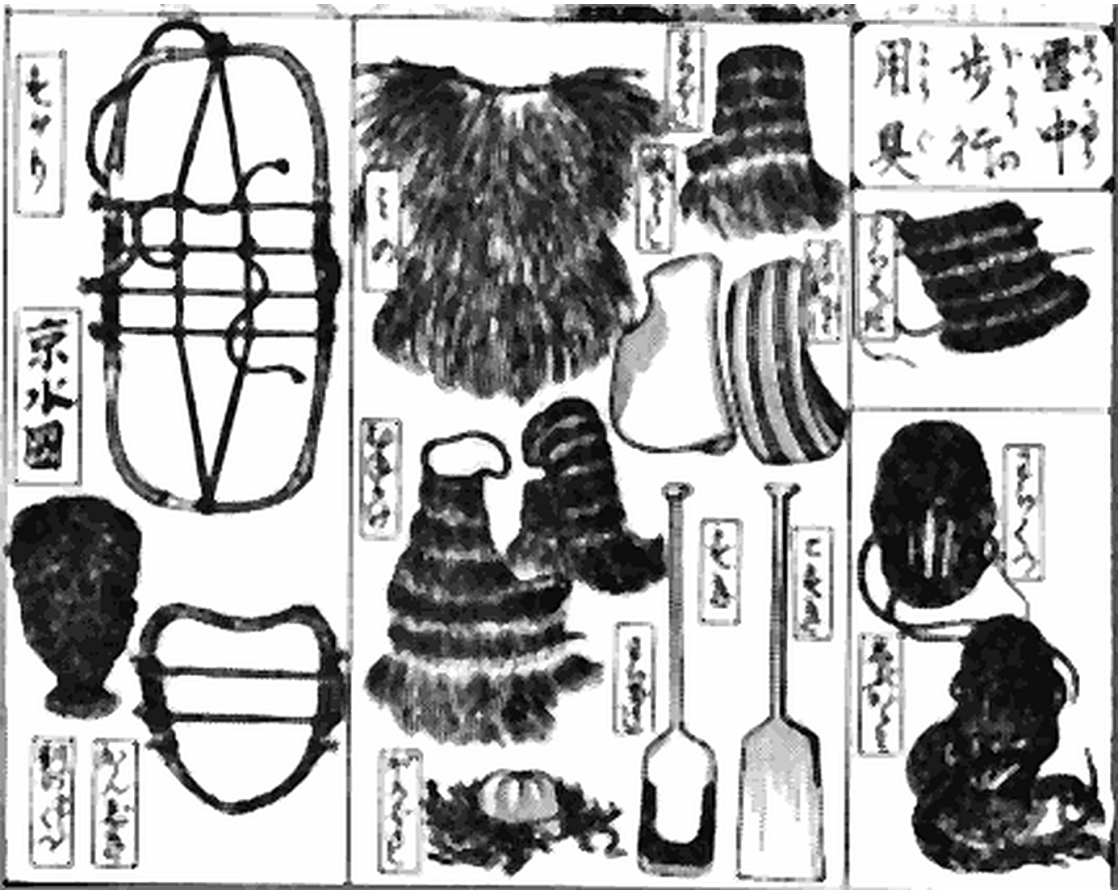


青空文庫情報

底本：「北越雪譜」ワイド版岩波文庫、岩波書店
　1991（平成3）年12月5日第1刷発行
　2013（平成25）年5月15日第6刷発行
底本の親本：「北越雪譜　初編」文渓堂
　1836（天保7）年
初出：「北越雪譜　初編」文渓堂
　1836（天保7）年
※「シテ」の合字は、仮名にあらためました。
※底本の親本の発行年は親本の奥付によりますが、実際に発売されたのは翌年の1837（天保8）年秋といわれています。
入力：富田晶子
校正：雪森
2018年8月28日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。


振除積雪之圖
就南蔵、
雪華起大
積空来白
四国埋絶
無林人不見鳥飛絶犬
宝飢渇衆冷死促多積雪
神幸元康歳次癸巳年知
春色到梅頭三月早沙雛
市賦小越雪景
江戸 狂名山人林翹
京水堂


屋上觀猴圖


雪中歩行の用具
京水図

北越雪譜

北越雪譜叙

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　京山人百樹、京水百鶴
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/